グリーンたいむ

2011-10月
vol.130
発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと

組合員の思いでつくられた 日本一のびん牛乳を守るため 飲み続けましょう!!

グリーンコープの“いのちを育む食べもの”の象徴である『産直びん牛乳』が登場して、まもなく９年目を迎えます。組合員の願いを込めて誕生した日本一の牛乳も、最近は利用が減少しています。「もう一度産直びん牛乳の素晴らしさを再確認し、組合員に伝えていこう！」と、組合員、ワーカーズ、専従職員が手を取り合って、各センターで“産直びん牛乳決起集会”を開催するなど、様々な取り組みが始まっています。

産直びん牛乳の素晴らしさを組合員に伝えたい

この牛乳の良さを伝えるのは私たち！

若いママの代表としてこの牛乳の良さを伝えていくのが私たちの役目と思っています。とにかく、ぐびぐび飲んで、心も体も健やかになりましょう！

ひまわり地区委員長　鏡 亜矢さん

9/1 県央東 産直びん牛乳決起集会

予約を呼びかける元気くん（牧理事長）と牛くん（上村商品おすすめ委員長）

牛乳の利用が減っています！私にできることは…

牛乳が危機的状況で、工場が稼動できないと聞きました。間違いなく日本一のびん牛乳!!私にできることをと、ワーカーズの定例会でも呼びかけています。予約も１本増やします。

たすけあいワーカーズ　江島 真弓さん

産直びん牛乳の素晴らしさを知りたい

9/2 県央東 産直びん牛乳工場視察

ドーンとそびえるグリーンコープ専用ミルクタンクが印象的です。大切に運ばれた生乳は、厳密に衛生管理された工場でこだわりのびん牛乳になります。

「日本一の牛乳」とメーカーさんも自信を持って語っています。私たちは、多くの方にびん牛乳の良さを伝え、飲み続けたいと思います。

商品検討委員長
矢野 布美子さん

目標を掲げて日々頑張っています!!

私たちの主力商品である産直びん牛乳の利用を組合員一人ひとりに訴えていきます。みなさんも、ぜひもう１本予約を！

北部センター職員
早川さん

がんばるばいっ!! エイエイオ〜ッ

牛乳で乾杯した後、組合員、ワーカーズ、専従職員で揃って掛け声

グリーンコープでは、遠い北海道や東北の生産者とも毎年交流を行っています。

今年度は、6月に北海道の青果生産者が熊本の地を訪れ、また、7月と9月には、熊本から利用普及推進委員会の古津委員長が北海道と長野に出向き交流しました。

今回は、古津委員長をナビゲーターに、その様子をお伝えします。

とおーい、とおーい 北海道や長野の生産者とも 顔の見える関係を築いています!

野菜を食べよう

ナビゲーターは古津委員長

気候の異なる生産地があることで私たち組合員は、一年を通してバレイショや人参などを手に入れることができます。

今回の視察や交流を通して「安心・安全・おいしい」を実感しました。

組合員のみなさん、たくさんの利用・予約をお願いします。

北海道小麦生産者（美瑛町）・大豆生産者（鵡川町）視察・交流会 in 北海道

7/12～13 訪問

1ｍほどに成長した秋まき小麦を背に生産者の菅井さん

旭川空港から美瑛町へと移動する車窓には、広大な土地に青々と茂ったトウモロコシやビート、黄色く色づいた小麦畑、色とりどりの花と、まさにパッチワークの丘が広がっていました。

美瑛町では、秋まき小麦と春まき小麦の圃場を視察。福岡ドームと同じくらいの広大な畑にはたくさんの小麦が育ち、収穫の時を待っていました。「気候の変化が著しい昨今は収穫まで気が抜けない、収穫時に雨が降ると穂発芽してしまい大変」と生産者。収穫の時期が天気に恵まれることを祈る思いでした。

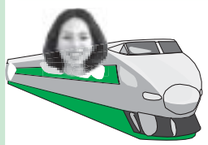
美瑛町からバスを走らせること３時間半、鵡川町に到着。ししゃもで有名な鵡川は夏は冷涼で日照時間も長く、冬は雪が少ないため、すずまる大豆の生産に適しているそうです。しかし、近年は春先に雨が多かったり、夏は猛暑だったりと、天候が不安定なことが多く大変されている様子でした。見せていただいた圃場では、密植栽培（苗と苗の間を狭くすることで、空間を茎葉で早く閉鎖し遮光による雑草の生育を抑制する）などにも取り組まれていました。

土地の広大さに驚くと共に、作業の大変さを実感しました。生産者のみなさんがとても前向きに最大限の努力をし、私たちに良質の小麦・大豆を届けようと頑張っておられる姿に、感謝の気持ちで一杯になりました。

大豆畑を背に生産者のみなさん

長野県りんご三産地視察・交流会 in 長野

8/22～24 訪問



東京から新幹線で長野へ。最初に訪れたのは八ケタ会の園地。丁度、葉摘みの時期で私たちも体験させてもらいましたが、相当に労力のいる作業だと実感しました。また、減農薬試験農場では減農薬でよりおいしいりんごができるようにと試験的な取り組みも行われていました。

次にお邪魔したのはながの農協飯綱。白桃、洋梨、りんごの園地や選果場を視察。年々、農地の減少が進み、出荷量が減っている状況や、カラスやクマ、鹿などの被害の様子などを聞き、自然相手の大変な状況を知りました。

最終日は信濃五岳会。ネクタリン、りんごの園地を視察。「雨が多いと病気、天気が良すぎると害虫被害と悩みは尽きませんが、交流会でお会いした組合員さんの顔を思い出して頑張ってます」と嬉しい言葉をもらいました。

りんご生産者の宮澤さん

今年は表年、桃もたくさんの実をつけましたと話す生産者の大島さん

三産地合同の交流会では、生産者から「福島原発の事故による風評被害が心配です」と意見が出され、大震災が残した傷跡が多くの人の心に不安を残したままになっていることを改めて実感しました。

「安心・安全・おいしいものを届けたい」と熱い思いで、減農薬栽培に取り組まれている様子が伝わってきました。水害や気候の変化で年々、生産状況は厳しくなっています。努力を惜しまず頑張って生産されている生産者の顔を思い浮かべながら、大切にいただきたいと思います。

1 訓子府有機農法研究会
2 有機農法すずらん会
3 美瑛町小麦生産者
4 鵡川大豆生産者
5 信濃五岳会
6 八ケタ会
7 ながの農協飯綱

安心・安全を実感！予約注文しましょう！

北海道青果生産者との交流会 in 熊本（県北地域本部）

6/29 開催

北海道の有機農法すずらん会と訓子府有機農法研究会から生産者を迎えて、和水町中央公民館で交流会が開催され、たくさんの組合員が参加しました。赤星県北地域理事長からは、「今日の学習会を、食べることを考え見つめなおすきっかけにしてほしい。食べることを通して社会を変えていきたい」と挨拶がありました。生産者からは、現地での生産の様子がビデオや手作りの表を用いて説明され、組合員からは商品おすすめ委員会メンバーが野菜毎のおすすめポイントをアピールしました。その後、野菜カレーや長芋のバター焼きを試食しながら、生産者、メーカー、組合員みんなで楽しく交流しました。

十勝は広いため、ほとんどが機械作業です。でも間引きや草取りは全て手作業。200m進むのに、7時間くらいかかります。今春は冬の寒さが残り、厳しい作業でした。作物に病気が広がった時などは、薬をかけようかと思う時もありますが、みなさんの顔を思い出して頑張って無農薬で育てています。

有機農法すずらん会　中島さん

近頃は異常気象で、6月に大雨やヒョウが降ったりと作物への被害もかなりありました。また、おかしな病気ばっかり発生していますが、薬はグリーンコープで認められているものだけ最小限の使用にとどめています。みなさんの期待に応えられるよう頑張ってやらねばと思います。

訓子府有機農法研究会　貞広さん

商品おすすめ委員会から青果のおすすめポイントをアピール

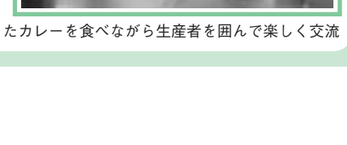
グリーンコープの野菜、とっても甘くておいしいです！是非利用、予約を！

生産の様子や組合員さんの購入の様子を知りたくて参加しました。「にん・たま・じゃ産直野菜セット」は利用が多いです。

生産量依頼などの業務を担う㈱リバーグリーンの寶船さん（右）
リバックや袋詰めを担う㈱アグリカルチャサービスの田尻さん

交流会ではこんな話が！

- トラクター１台は500～1,000万円。車と同じ様にローンで買ってます。
- 一般の慣行栽培でも農薬回数は減ってきているようですが、作物自体に吸収されやすいものになっているようです。
- ないはずの梅雨があったりなど、近頃の不思議な気候に悩まされています。



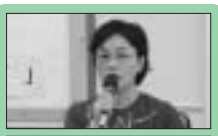
産直野菜で作ったカレーを食べながら生産者を囲んで楽しく交流

思いをつなごう ことばをつなごう

梅田 玲子さん

グリーンコープとの関わりは34歳から。地区運営委員、地区委員長、理事会室（現在の組合員事務局）を経て当時の共生社生協八代の理事長へ。「夢ヲかたちに」の起草に関わる。45歳の時、代理人として八代市議会議員へ。３期10年務める。

基調講演から 始まりは「安全な食べものがほしい」からだった。生協と共に学んできた。当時は合併への過渡期で議論をし、喧嘩もした。その中で人と人とが協同すること、自分は自分であることの大切さを学んだ。グリーンコープの財産は「人とことば」。それが形になって商品がある。意見を言う、人と話すことで信頼性も生まれる。組合員主権を守るのは組合員自身。「何か変？」と思う感性を育んでいこう。



平畑 美和子さん

元くまもと生協理事長。合併後、２代目理事長就任。組合員事務局を経て、現在「ゆるりの家・長嶺」で生活相談員として活躍。

くまもと生協理事長就任と共にくまもと共生社との合併協議。その合併によって、活動が組織的なものになっていった。子育て支援の講演会で“ことば”の大切さを実感した。“ことば”と、そのキャッチボールを大切に。

生産者との出会いで、活動の楽しさ、面白さに気付いた。人に寄り添うことの大切さをグリーンコープの中で得た。人との出会いに感謝！体験に感謝！困ったり悩んだりした時は「お母さんの視点」で考えればいい。

中島 明美さん

県北地域理事長を経て、グリーンコープくまもとの３代目理事長に。08年より生活再生事業の開始と共に相談員となり活躍中。

渡辺 真理さん

地域理事長を経て、94年、連合福祉委員会初代委員長就任。その後組合員事務局を経て、現在「グリーンたいむ」の編集部で活躍中。

福祉の取り組みに向けては、実感した人たちが身近なことばと思いで語りかけ、生活者、専門家、地域、生協が力を合わせてつくってきた。福祉の立ち上げに関われたのは私の財産。人と人の紡ぎ、“ことば”の紡ぎの大切さを学んだ。

先達を囲む会 開催　9/6

グリーンコープ運動の創成期や今日に至るまでの過程においては、多くの先輩組合員たちが熱い思いを持って関わってきました。

グリーンコープくまもとの歴史や先輩組合員達の当時の思いを知り、これからの活動につなげていこうと、理事研修第二段として「先達を囲む会」が開催されました。

当日は、グリーンコープくまもとの前身時代から現在もグリーンコープ運動の様々な分野で関わっている４人の「先達」が登場し、基調講演とリレートーク、また交流会で当時の熱い思いやこれからへのメッセージが発信されました。

グリーンコープを離れることがあっても、いつまでもグリーンコープでありたい。今日のこの時間を大切にしましょう。

開会のあいさつ
久米田理事長

平成さくら通り店のお弁当を食べながら昼食交流会

たくさんの先輩達があり、今こうしていられるんだなあと思います。これからも長く続けていける自信になりました。グリーンコープに出会えてよかったと思っています。

グリーンコープは人と人のつながり。「人とことばが財産」と心に響きました。日々の暮らしの中で、グリーンコープのありがたさを噛みしめ、楽しみながら活動を続けたいと思います。

先輩達が築きあげたグリーンコープを、私たちの子ども、子孫にも残していきます！

閉会のあいさつ
沖仲副理事長

「人とことばが財産」。このことを深く自分の中で考えていきたいと思います。そして、私も歴史を重ね、歩む１人として頑張っていきます。

BMW技術学習会

国際交流会館６・７Ｆホール　9/13

グリーンコープは20年に亘ってＢＭW技術に取り組んできています。産直生産者の畜産や農業にもこの技術が生かされています。この技術を学び、グリーンコープの畜産や農業の考え方、産直青果の素晴らしさを知ろう、と学習会が開催されました。当日はグリーンコープ連合ＢＭ事務局と産直生産者から、この技術の意義やそれぞれ工夫された実践例が話され、組合員からはBM菌の利用に挑戦した様子が報告されました。

ＢＭW技術とは・・・
Ｂはバクテリア、Ｍはミネラル、Ｗは水（ウォーター）を意味します。ＢＭＷ技術とは、自然の循環システムを人の手によって作り出し、バクテリアの力でミネラルバランスにすぐれた水を作り出す技術のことです。畜舎の環境改善、家畜の飲み水、栽培土壌や作物への散布などに活用され効果を発揮しています。

ＢＭW技術による青果の栽培について生産者からの報告

愛農会

愛農会
渡辺 洋一さん

長年の付き合いで、清村養豚場からの簡易処理水を全作物、畑に使用しています。土の力がないと野菜は育ちません。ＢＭW技術を取り入れて、安心・安全はもちろん、味のいい健康な野菜を作っていきたいと思っています。

ＢＭW技術により元気に育っている大根（右）　▶

◀畑にＢＭW技術による簡易処理水を撒く様子

▲やまびこ会土壌分析チーム

この技術は近代だからこそ必要になってきた技術。自然になるべく近い状態で農業や畜産ができる技術だと言えます。1990年、グリーンコープの生産者と共にこの技術を普及しようと判断し、その後本格的にプラントの導入が始まりました。

グリーンコープ連合
宮崎 利明さん

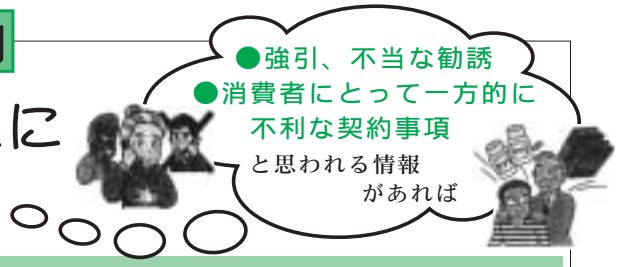
やまびこ会

1992年、ＢＭＷプラントを設立し、より環境保全型の農業を目指しています。土壌分析チームを作り、植え付け前と生育過程中に分析を実施し、バランスの取れた土作りを心がけています。

やまびこ会
中塘 万格人さん

生活再生事業からの御案内

消費者支援ネットくまもとに情報をお寄せ下さい！



「ＮＰＯ法人消費者支援ネットくまもと」とは

「ＮＰＯ法人消費者支援ネットくまもと」とは、消費者契約法第２条４項において定められる適格消費者団体として活動を行っていくことを目指している団体です。熊本県において全消費者の利益の活動をしていく役割りを果たすべく、弁護士、司法書士、県下の消費者法の研究者、消費生活相談員、熊本県生協連、ＮＰＯ法人熊本消費者協会、ＮＰＯ法人熊本クレ・サラ被害をなくす会などが結集して、今後、熊本県の消費者の権利擁護の活動のセンターとなることを目指しています。

消費者と事業者との間の情報の質、及び量並びに交渉力の格差のもと、いわゆる悪質商法やクレジット・サラ金問題、役務提供に関する契約のトラブル、近年ではインターネットに関する被害に至るまで、多種多様な分野で消費者被害が広がっていることは周知の事実です。

当法人では、消費者被害の救済に向けた相談会活動や消費者向けの講演会、講座の開催、不当な契約条項の利用を行っている事業者に対する契約条項是正の申し入れなどの活動を行うことで、熊本における消費者被害の救済・予防をはかっていこうと考えています。

〒860-0805 熊本市桜町２番17号 第二甲斐田ビル５Ｆ
ＮＰＯ法人消費者支援ネットくまもと事務局
● TEL：096－356－3110　FAX：096－356－3119
※電話受付時間：午前10時～午後５時まで
（正午～午後１時までは昼休みです）
●メールアドレス：shien@net-kuma.com
●ホームページ：http//net-kuma.com/ でも受付けています

◘グリーンコープくまもとは「ＮＰＯ法人消費者支援ネットくまもと」の事務局を担っています

子育て講演会開催中！

グリーンコープの子育て応援の取り組みである「子育て講演会」が、今年度も各地域本部で開催されます。県南地域本部の講演会の様子を報告します。

子育て講演会は福祉活動組合員基金（100円基金）に助成申請予定です

すごい 弁当力！ ～人と自分を大切にする食～ 9/12

やつしろハーモニーホール（73名参加）

毎朝弁当代に５００円もらう中学生。最初は喜んでいたが、１ヶ月も経つと手作り弁当が食べたくなってくる。「月に一度でいいから作って」と親に頼むと「忙しいから無理」との返事。自分が大切な存在と実感できない子どもは、親の愛情の確認作業をするようになる。

５・６年生が月に一回自分で弁当を作る取り組みを始めた小学校がある。10年が経ち、その実践はすっかり定着し、全国に広がっている。作る人の気持ちがわかるようになると、給食の残食も減る。料理は人のために作る時の方が力が入る。「おいしい」と喜ばれる達成感が、失敗したときの支えになる。低学年の子は「早く自分も作りたい」と、成長と自立のスイッチが入る。

弁当の思い出がない人はいない。答えは日々の暮らしの中にある。愛された子どもは素敵な大人になる。

講師の佐藤さんは、助教を務める九州大学で、自ら学生とともに「お弁当の日」を実践中。「自炊している大学生は数％しかいない。彼らがいずれ親となり子どもを育てる。食事は体だけでなく、心を育む。おいしいものを食べながら家族で食卓を囲むことが大切」と語った。

⬆講師の佐藤剛史さん。九州大学大学院農学研究院助教。二児の子煩悩な父親でもある

時折、涙も…。聞き入る組合員

⬆「お弁当作りはグリーンコープの野菜で!!」と、参加者にはおすすめサンプルとして産直野菜セットとレシピが渡された

今後の予定

♥10／19（水） 9：45～12：00 熊本県民交流館パレア 【県央東地域本部 主催】
「心がかぜをひくときpart2 ～安心感と自立～」（講師：吉村 春生 氏）

♥11／16（水） 10：00～12：30 和水町中央公民館 【県北地域本部 主催】
「心がかぜをひくとき ～“安心感”と自立～」（講師：吉村 春生 氏）

♥12／6（火） 10：00～12：00 くまもと森都心 【県央西地域本部 主催】
「すごい 弁当力！ ～人と自分を大切にする食～」（講師：佐藤 剛史 氏）

100円基金ってなぁに？

福祉委員会 4

100円基金は誰が運用しているの？

100円基金は、組合員の代表で構成された「福祉活動組合員基金運用委員会」が、理事会から委任を受けて運用しています。

グリーンコープくまもとでは、総代会で選任された各地域本部代表の運用委員22名で毎月「基金運用委員会」を開き、100円基金の助成を審査しています。

基金運用委員会では、組合員が拠出しているみんなの100円が有効に活用されるよう、責任を持ってこの役割を担っています。

次年度、あなたも運用委員になって、100円基金の意義を実感してみませんか？

（つづく）

利用普及推進委員会発 No.4

私のおすすめ 産直里芋

煮物にみそ汁に大活躍な里芋！トロ～っとした食感が大好きです。無農薬栽培なので安心して皮まで食べられます。

レシピ 里芋の皮チップス＆里芋ピザ

材料（4人分）

・里芋	5個くらい
・薄力粉または片栗粉	適量
・トマトケチャップ	適量
・ミックスチーズ	適量

作り方

① 里芋をよく洗い、皮をむく
② 皮に粉をまぶし、水大さじ１～２を加え、衣がついたら少し多めの油で揚げ焼き。塩をかけてチップスの出来上がり
③ 皮をむいた里芋をスライスする
④ フライパンに里芋がひたるくらい水を入れ火を通す
⑤ 火が通ったらゆでこぼし、少し油を入れて両面焼く
⑥ 里芋の上にケチャップをぬり、チーズをかけてとけたら出来上がり

おしゃべりたいむ

お便りが届きました

組合員の声をお聞かせ下さい。
グリーンコープについて何でも結構です。お便り待ってまーす！

我が家の定番おすすめ商品は“おすすめ豚ちゃん”です。でも最近では“産直豚スペアリブ焼肉カット徳用”もおすすめに加わりました。徳用なので500g入って値段もちょっと安め！見た目も食べ盛りを納得させるボリュームです。脂身もにおいがなくジューシーです。解凍時にジッパーケースに焼肉のたれと一緒に入れて下味をつけ焼いたものや、マーマレード煮がうけてます。（金峰地区の藤川さんより）

◆記事を掲載する場合は、紙面の都合上、本人の主旨を変えず修正や縮小させていただくことがあります。

《応募方法》
氏名・電話番号・地区名を記入して、下記住所宛、郵送またはFAXにてお送り下さい。
〒860-0056 熊本市新土河原2丁目1-1
グリーンコープくまもと 本部組合員事務局 入江
TEL 096-324-8145・FAX 096-324-8123

組合員のみなさんふるってご参加下さい

脱原発学習会のご案内

「原発は『いのち・自然・暮らし』を脅かし、未来の子どもたちに大きなつけを負わせるものであり、共存できるものではない」とグリーンコープは考え、脱原発に取り組んでいます。
3.11東日本大震災で大きな放射能事故が起きました。原発についてもう一度みんなで考え、脱原発社会を目指していきましょう！
今回、下記の要綱で学習会を開催します。

ー記ー

日時：2011年12月13日（火）10:30～13:00
場所：熊本市国際交流会館7階ホール
講師：藤田 祐幸氏
物理学者の立場から、放射能が人体と環境に及ぼす影響を訴え続けている

申し込み方法：12月5日までに電話にて申し込みください。
申し込み・お問い合わせ先：本部組合員事務局 森
TEL 096-324-8145

fromネグロスセミナーのご案内

フィリピン・ネグロス島で飢餓に直面した砂糖キビ農園労働者が、農民として地域で自立できるようにと始まった民衆交易。商品はフィリピンのバナナ、インドネシアのエコシュリンプ、東ティモールのコーヒーなどへと広がっています。これらの商品を私たちが利用することが、現地の人たちの自立支援に繋がり、共に支えあう関係性を築くことになります。セミナーに参加して、支援・連帯について理解を深めましょう。
今回、下記の要綱でセミナーを開催します。

ー記ー

日時：2011年11月8日（火）10:30～12:40
場所：グリーンコープ本部A，B会議室
講師：大橋 成子氏
ネグロスの自立支援に取り組み、現在APLAスタッフとしてネグロスに在住
APLA：「農を軸にした地域づくり」のネットワーキングを進めているNPO

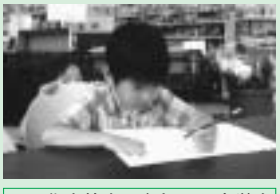
申し込み方法：10月31日までに電話にて申し込みください。
申し込み・お問い合わせ先：本部組合員事務局 森
TEL 096-324-8145

こんにちはワーカーズです ⑲

グリーンコープのお店は出会いの場!?

組合員に「もっとお店を知ってもらおう！もっと身近に感じてもらおう！」と、熊本の5つの店舗では、組合員と一緒に「ジョイ講座」「ジョイ企画」を開催しています。「韓流料理教室」「魚の捌き方教室」など、様々な料理教室はもちろん、レンコンを使った草木染め、フラワーアレンジメント教室、組合員が作った手作り手芸品の一日出店・販売など、多彩な内容です。特に夏休みに、平成さくら通り店で開かれた「小学生ミニ作文教室」は低学年、高学年に分かれた小学生が、店長の話を聞いたり、冷凍庫に入ったり、お店の探検をした後、作文を書くといったもので、文章を書くということに消極的だった子どもにも楽しく学ぶことができたようです。原稿用紙の使い方「こそあど」言葉、句読点など、「学校ではなかなか順序立てて教えてくれないので勉強になりました」と親子で参加したお母さんの声もありました。
今後の予定は、「お酢とりんごの健康レシピ」「大分郷土料理やせ馬づくり」などです。近くのお店で参加されませんか。

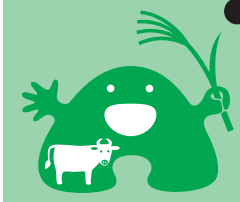
ワーカーズ マミー 津田 律子


ミニ作文教室に参加した小学生

お詫びと訂正

グリーンたいむ129号2面掲載の産直人参の予約利用割引価格を10円としておりましたが、正しくは5円です。お詫びして訂正します。

● 阿蘇草原再生募金にご協力をお願いします ●



広大な草原の景観・生物多様性・九州の水を守り、草原維持の担い手やあか牛を育てる。そのために、グリーンコープは「阿蘇草原再生募金」に積極的に取り組みます。

9370 阿蘇草原再生募金 一口 200円

〈募金の方法〉
注文用紙の特別申込欄にご記入ください。
毎週同じ番号で募金を受け付けます。

9371 阿蘇草原再生募金 一口 500円

募金状況：22号～25号 192,200円　　累計 2,516,200円

GCくまもと 独自品

くまもとのおいしさを お届けいたします

●申込書提出日：10月24日(月)～10月29日(土)
●配　達　日：11月 7日(月)～11月12日(土)

ご注文は31号注文書で！
特別申込欄に4桁の注文番号をご記入ください。

コーヒー本来のコクと甘みがお楽しみいただけます

ネパールの西部山岳地帯に暮らす小さな組合の農民たちが環境に優しい無農薬栽培で生産したコーヒーです。
商品代の一部は、環境に優しい自然エネルギーの太陽光発電パネルを、東アジアの村々に設置するために使われます。

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」(豆)
150g
798.00円
(本体価格760円)
9366 月1回

豆

●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」(粉)
150g
798.00円
(本体価格760円)
9367 月1回

粉

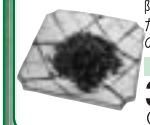
●東アジア共生コーヒー「ヒマラヤの薫り」(ドリップ式4回分)
8g×4
350.00円
(本体価格334円)
9368 月1回

ドリップ式

●ブルーベリージャム
蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。
180g
472.50円
(本体価格450円)
9353 月1回

●こいくちしょうゆ
旨み成分たっぷりの本醸造醤油。ブラジル産nonGMO脱脂加工大豆使用。
1.8リットル
567.00円
(本体価格540円)
9362 月1回

●たかなめしのぐ
阿蘇地方で栽培された「阿蘇たかな」を本漬けし、生協指定の調味料で味付け。
200g
315.00円
(本体価格300円)
9357 月1回



●完熟トマトジュース
阿蘇一の宮産のトマト「桃太郎」を原料に、1本に約12個を使用。
1リットル
787.50円
(本体価格750円)
9359 月1回

●釜炒り矢部茶(農薬不使用)
矢部町の通潤農園で栽培された茶葉を使用。
100g
567.00円
(本体価格540円)
9354 月1回

●ブルーベリーサワー
蘇陽高原産の完熟ブルーベリーを使用。甘さ控えめ。
720g
840.00円
(本体価格800円)
9356 スポット

●軍　手
熊本菊陽学園(知的障がい者施設)の応援企画。
綿・レーヨン・アクリルの混紡糸5本を使用して丈夫な仕上げ。
1ダース
609.00円
(本体価格580円)
9365 スポット

●なたね油
国産(一部オーストラリア産)の種子を圧搾法で搾り、湯洗いのみで精製。
1.65kg
981.75円
(本体価格935円)
9363 月1回

●国産紅茶(農薬不使用)
水俣の山間地で無農薬栽培された緑茶用茶葉を使用。
80g
472.50円
(本体価格450円)
9355 月1回

●支援コーヒー(豆)
200g
829.50円
(本体価格790円)
9360 月1回

豆

ブラジルのジャカランタ農園でつくられた有機栽培コーヒー。
チェルノブイリ原発事故による病気で苦しむ子どもたちへの救済カンパ100円が含まれています。

●支援コーヒー(粉)
200g
829.50円
(本体価格790円)
9361 月1回

粉

編集後記

先日久しぶりに学生時代の友人と会った。彼女は息子さんが社会人になったのを期に一念発起、お菓子の専門学校へ通い3年の修行を経て、この秋お店を構えることになった。学生時代からの夢を今まさに叶えようとしている。同じ年齢の私はといえば、老後の貯えはどうしよう？などと。やらずに後悔するより、やって後悔するほうがよっぽどいいと彼女は言う。すごい！わたしには到底その勇気はないが、できるかぎりの応援をしていきたい。（松岡）

発行　グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任／理事会
編　　集／機関誌編集室
発 行 所／〒860-0056
熊本市新土河原２丁目1-1
☎ 096-324-8118(代)
FAX 096-324-8123
印 刷 所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部　13,800名
■県央東地域本部　26,900名
■県央西地域本部　17,644名
■県南地域本部　7,929名
合　計　66,273名
（９月20日現在店舗組合員を含む）

もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか？
まずはお電話下さい
生活再生相談室
☎096-243-2100
開設曜日…月曜～金曜
第３週は月曜～土曜
開設時間…９時30分～18時

ふくし情報でんわ
フリーダイヤル 0120-540-294
FAX 096-338-4251
開設曜日…月曜～水曜（祝日は休み）
木，金曜は留守電対応
開設時間…午前10時30分
～午後４時30分
携帯電話の方は 096－337－7226

GREEN くらしアップ情報誌「くまもと」
フリーダイヤル 0120-51-8141
住宅リフォーム、エアコンクリーニング、引越しなどについてはお気軽にご連絡下さい